



令和4年1月18日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
(公財)岐阜県教育文化財団	県民文化課	塚本	直通 058-233-8161
			FAX 058-233-5811
文化創造課	文化創造係	西尾	内線 2465
			直通 058-272-8378
			FAX 058-278-3529

清流の国ぎふ芸術祭「第4回 ぎふ美術展」の開催概要決定！

県では、「清流の国ぎふ芸術祭」の柱の1つとして、県民の美術に親しむ裾野を広げ、創造力、鑑賞力の向上に寄与するため、創作活動に励む県民に広く発表の機会を提供する「ぎふ美術展」を開催しています。

このたび、下記のとおり「第4回 ぎふ美術展」の開催概要が決定しましたのでお知らせします。

記

1 開催概要

〔会期〕 令和4年8月13日(土)～8月28日(日) 10:00～18:00 [14日間]
 (8月15日、8月22日は休館、8月13日は14:00開場、
 8月19日は20:00まで、最終日は14:30まで)

〔会場〕 岐阜県美術館(岐阜市宇佐4-1-22)

〔部門〕 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、自由表現の7部門

〔観覧料〕 無料

〔主催〕 岐阜県・岐阜県美術館、(公財)岐阜県教育文化財団

〔審査員〕

(※各部門氏名50音順 敬称略)

部門	氏名	肩書
日本画	齋 正機	日本画家/両口屋是清美術顧問
	千住 博	日本画家/京都芸術大学教授
洋画	奥谷 博	洋画家/日本芸術院会員
	榎木 野衣	美術批評家/多摩美術大学教授
彫刻	建畠 哲	多摩美術大学学長/埼玉県立近代美術館館長
	吉野 毅	彫刻家/日本芸術院会員
工芸	田嶋 悦子	陶芸家/大阪芸術大学教授
	宮田 亮平	金工作家/文化庁 前長官
書	高木 聖雨	書家/日本芸術院会員/大東文化大学名誉教授
	鍋島 稲子	台東区立書道博物館主任研究員/東京国立博物館客員研究員
写真	土田 ヒロミ	写真家/金津創作の森美術館館長
	光田 由里	美術評論家/多摩美術大学教授
自由表現	立島 恵	佐藤美術館学芸部長
	山本 豊津	東京画廊代表

2 応募概要

〔応募資格〕 制限なし

〔応募点数〕 1部門につき1人1点

〔応募期間〕 4月1日(金)～7月15日(金)
※応募料納付期間(作品搬入日は下記「搬入先等」に記載)。ただし、応募料無料の方については、作品搬入日が締切

〔応募料〕 1点につき2,000円(ただし、大学生及びこれに準ずる方は1,000円、高校生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は無料)
※振込又はクレジットカードにより納付してください。

〔賞〕 ぎふ美術展賞：各部門1点(重要無形文化財保持者(人間国宝)加藤孝造氏陶芸作品)
優秀賞：各部門2点(岐阜県重要無形文化財保持者 安藤日出武氏陶芸作品)
奨励賞：各部門若干数

〔搬入先等〕

	搬入日	場所
飛騨	7月20日(水)	飛騨・世界生活文化センター(高山市千島町900-1)
東濃	7月21日(木)	セラミックパークMINO(多治見市東町4-2-5) 恵那文化センター(恵那市長島町中野414-1)
岐阜	7月23日(土) 7月24日(日)	岐阜県美術館(岐阜市宇佐4-1-22)

※部門等により搬入の日時・場所が異なります。詳細は別添応募要項をご確認ください。
(ぎふ清流文化プラザなど各文化施設等で配布。ぎふ美術展公式ホームページでもダウンロード可能)

3 その他

- ・社会情勢等その他の理由のために日時や会場を変更する場合等、ぎふ美術展に関する重要なお知らせは、公式ホームページに掲載します。
- ・公式ホームページでは、「第3回ぎふ美術展」の展覧会場をパソコン、スマートフォン、タブレットからVR体験できる「3Dバーチャル美術展」やクロストーク、作品講評会の様子をご覧いただける動画を公開しています。是非ご覧ください。

<ぎふ美術展公式ホームページ>

<https://www.gifu-art.jp/>



<清流の国ぎふ芸術祭について>

県では、69回の歴史を刻んだ「岐阜県美術展」を、時代の変遷や表現の多様化に合わせて見直し、新たに「清流の国ぎふ芸術祭」として次の3つを柱に展開中。

①Art Award IN THE CUBE(3年に1回)

想像力溢れる新たな才能の発掘と育成を目的とした革新的な企画公募展

②ぎふ美術展(3年に2回(①を開催しない年))

県民に広く発表する機会を提供する公募展

③アート体験プログラム-アートラボぎふ-(毎年開催)

幅広い県民が参加できる美術講座、ワークショップ等を全圏域で展開